

根室市フレシマ地区

風力発電建設で意見書

日本野鳥の会 計画見直し求める

根室市のフレシマ地区に建設計画が持ち上がっている風力発電施設について、

日本野鳥の会(東京)と同根室支部は11日、建設事業者が示している環境影響評価方法を「調査不十分」とする意見書を、計画事業者の電源開発(東京)に提出した。同会は建設予定地を「多くの野鳥が生息する北海道の原風景的な場所」

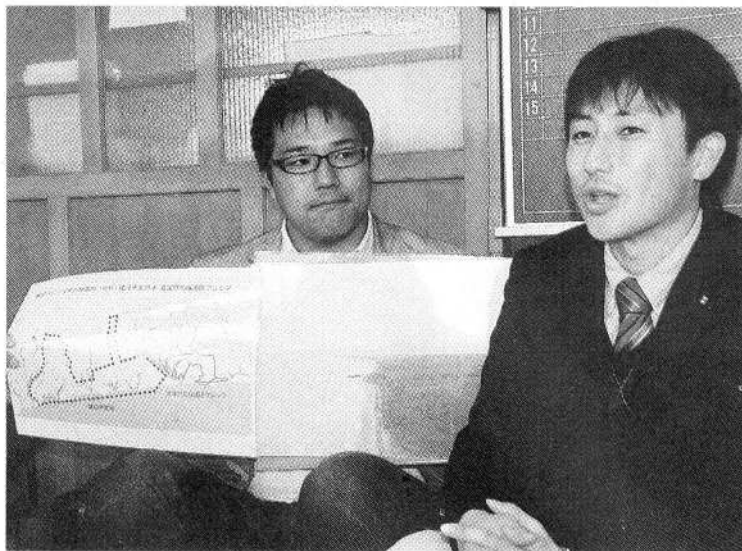
として、建設計画の見直しを求める方針を示した。

フレシマ地区は、テレビドラマ「南極大陸」のロケも行われた場所。建設予定地はJR別当賀駅と同初田牛駅間の海側に面した広大な土地。国有林と複数の個人、JA道東あさひが所有している。計画では、風力発電開発大手の電源開発が、同地区の海岸線に15基

の風車を建設することになっている。

一般の立ち入りが制限されているためオジロワシやオオワシ、オオジシギ、タシロウなど多くの野鳥が確認されており、風車を設置すれば回転するプロペラに野鳥が衝突する「バードストライク」の多発が懸念される。

同会が9日に実施した野



建設場所の写真を示しながら野鳥への影響を懸念する松本さん(右)ら

写真に収めた。国内では確認例が少なく、時期的にも非常に貴重だという。同会は「成鳥が2羽並んで飛んでいたことで、周辺で繁殖している可能性も出てきた」と話す。

同会の松本潤慶チーフレンジャーは「業者の調査は場所の設定などが十分でなく、同地区特有の霧発生時の調査も行われていない」と述べ、秋までに野鳥などの動植物調査を行って実態把握を急ぎたい考え。根室支部は市民に感心を持ってもらうため「建設予定地探鳥会」を実施する予定だといふ。

(山本繁寿)